

## 2月6日 トルコの地震

2023年2月6日10時17分（日本時間、以下同じ）に、トルコの深さ18kmでMw7.8の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード、図中①）が発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁は、この地震に対して、同日10時47分に遠地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

今回の地震の震央付近（領域a）では、この地震の発生後に地震活動が活発になっている。同日19時24分には、トルコの深さ10kmでMw7.6の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード、図中②）が発生した。発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁はこの地震に対して、同日19時52分に遠地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

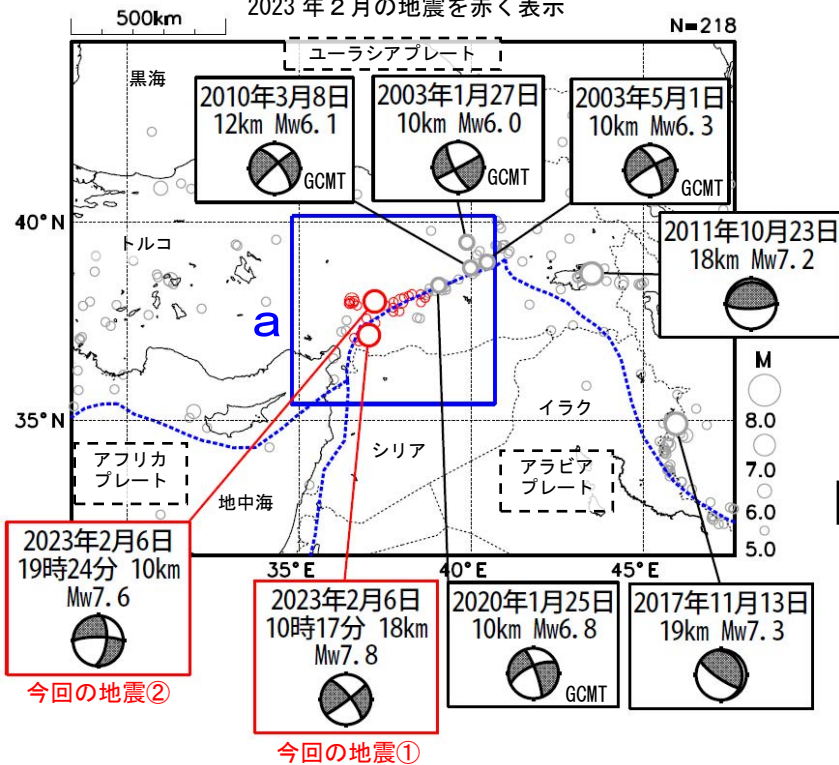
これらの地震により、少なくとも死者7,200人などの被害が生じた（2023年2月8日時点）。

今回の地震の震央周辺はユーラシアプレートとアラビアプレートの境界付近に位置する領域であり、2000年以降の活動をみると、M6.0以上の地震が時々発生している。2020年1月25日にはMw6.8の地震が発生し、死者41人、負傷者約1,600人などの被害が生じた。

また、1970年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、大きな被害を伴う地震が多く発生している。1999年8月17日にはMw7.6の地震が発生し、死者17,118人、負傷者約50,000人などの被害が生じた。

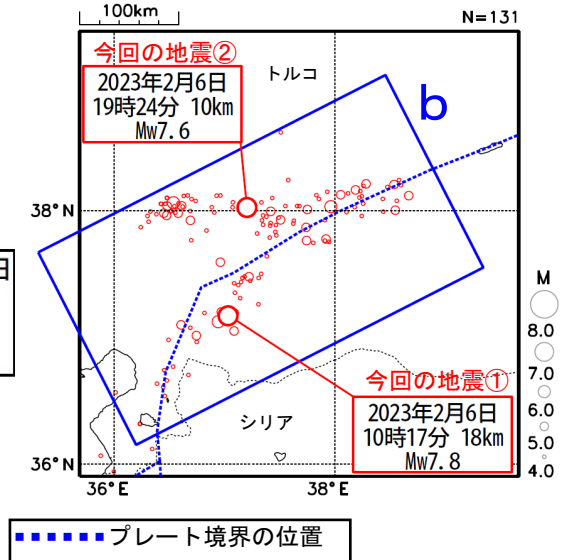
震央分布図

(2000年1月1日～2023年2月8日08時、  
深さ0～30km、M≥5.0)  
2023年2月の地震を赤く表示



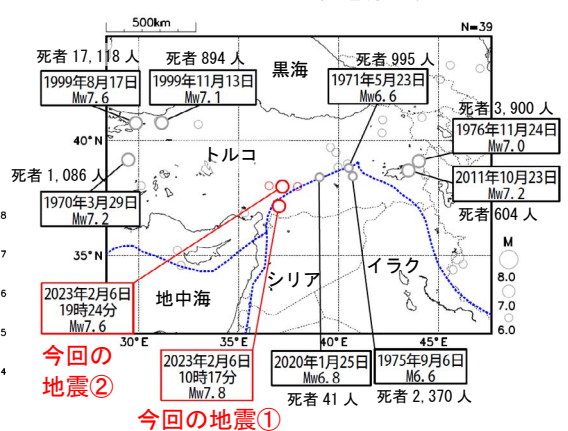
領域a内の震央分布図

(2023年2月6日00時～8日08時、M≥4.0)

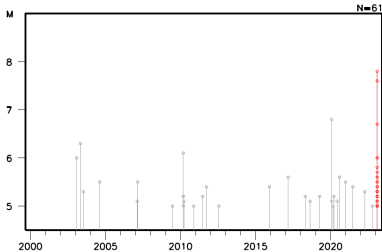


震央分布図

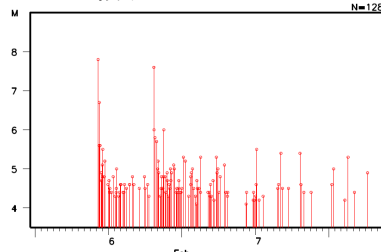
(1970年1月1日～2023年2月8日08時、  
深さ0～50km、M≥6.0)  
2023年2月の地震を赤く表示



領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



※震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2023年2月8日現在)。ただし、吹き出しのある地震のうち、発震機構とMwは、今回の地震①及び②、2011年10月23日の地震及び2017年11月13日の地震は気象庁、1970年3月29日の地震、1971年5月23日の地震及び1975年9月6日の地震はISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 9.1 (1904-2018)、その他の地震はGlobal CMTによる。被害は、今回の地震及び2020年1月25日の地震はOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所、2023年2月8日現在)、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird (2003) より引用。

\* 参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

気象庁作成